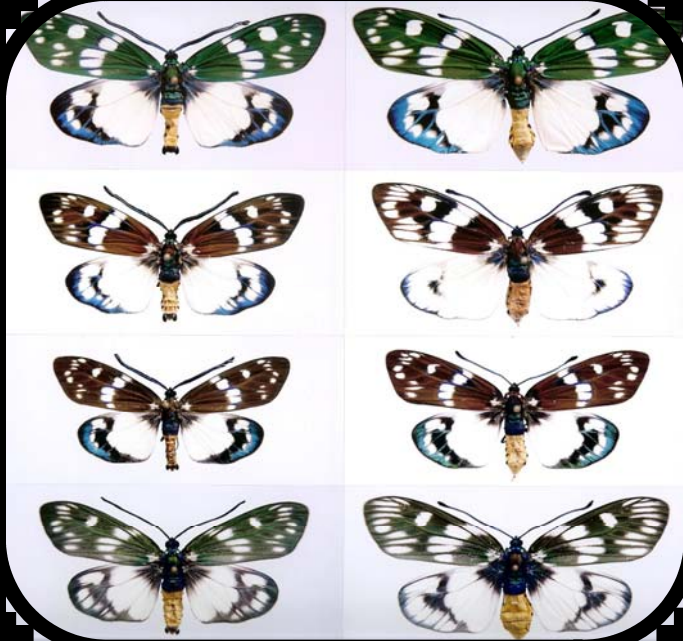


蛾を収集して30年



大和田 守 (おおわだ まもる)
動物研究部陸生無脊椎動物研究グループ長

オキナワリチラシの研究



上から、石垣島、沖縄島、奄美大島、隠岐産の雄(右)と雌

オキナワリチラシはかなり大きい蛾で、屋間飛ぶので蝶のように美しい翅があります。日本では琉球列島から本州(伊豆半島まで)に至るまで、それぞれの地域に適応した生活環があり、亜種として分化していることが分かりました。国外では、台湾からアジア大陸を経て、ヒマラヤ、インド南部からスリランカに至るまで、広域に分布しています。この亜種分化の様子は、地球館1階、系統広場の隣の進化のコーナーに展示してありますから、ご覧下さい。

信州大学農学部卒、大阪府立大学大学院農学研究科中退。1977年から国立科学博物館動物研究部に在籍、農学博士。専門は昆虫系統分類学。日本からアジアに分布する蛾類の分類と系統を、外部形態とともに生態・生理的知見を含めて研究しています。著書:『日本産蛾類大図鑑』(分担執筆、講談社、1982);『日本産蛾類生態図鑑』(分担執筆、講談社、1987);『日本産クルマツバ亜科(鱗翅目、ヤガ科)の分類学的研究』(英文、国立科学博物館、1987)など。

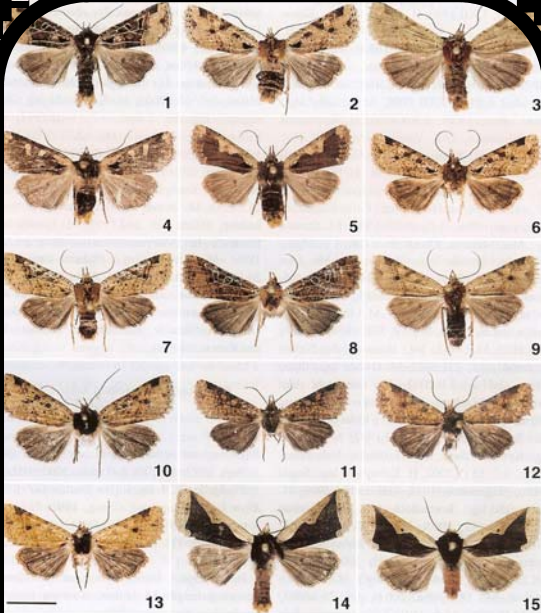
皇居や赤坂御用地の動物相調査

大都会東京の中心にある皇居の森にどんな生物が生息しているか、国立科学博物館は1996年から、その調査を開始しました。5年近くを費やしたその調査で、3,638種もの動物が記録されました。この調査に引き続いて重要な動物群のモニタリング調査を行い、その結果を2006年に公表しています。また、港区の赤坂御用地と渋谷区の常盤松御用邸の調査も行いました。一連の調査で、20世紀末から21世紀初頭の東京の大型緑地の動物相の膨大な資料・標本が、国立科学博物館に残されることになりました。

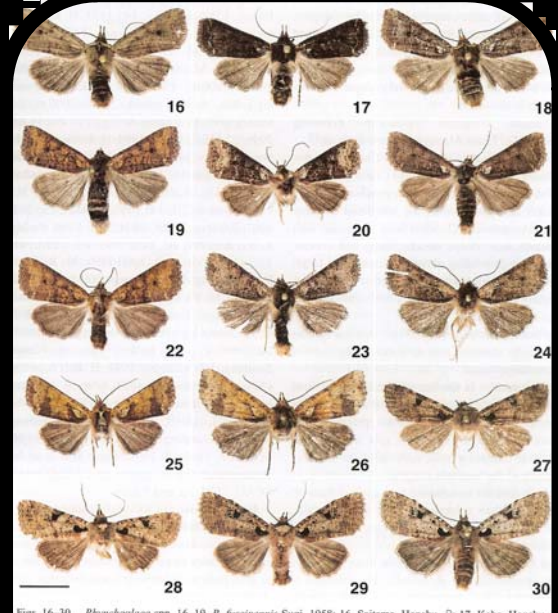


灯火採集、皇居上道灌漑にて

海外調査、8カ国



Figs 1-15. *Rhyachaglaea* spp. 1-6, *R. scitula* (Butler, 1879): 1-2, Mt. Komayama, Honshu, ♂ & ♀; 3, Hakone, Honshu, ♀; 4, Kumamoto, Kyushu, ♂; 5, Amami-oshima Is., ♀; 6, Iriomote Is., ♀; 7-10, *R. perscutila* Kobayashi & Owada, sp. nov.: 7, Annashan, Taiwan, ♂, holotype; 8, Suoyuan-yakou, Taiwan, ♂; 9, Shan-Baling, Taiwan, ♀; 10, Nanling Nature Reserve, Guangdong, ♂. 11-13, *R. labiscitula* Kobayashi & Owada, sp. nov.: 11, Nanshan-si, Taiwan, ♂, holotype; 12, Mt. Paoak, Vietnam, ♂; 13, Sapa, Vietnam, ♀. 14-15, *R. himixantha* hemixantha Sugi, 1980: 14, Nanling Nature Reserve, Guangdong, ♂; 15, Lalashan, Taiwan, ♀. Scale: 10mm
1-6. チャマダラキリガ *Rhyachaglaea scitula*;
7-10. *R. perscutila*; 11-13. *R. labiscitula*;
14-15. *R. himixantha*.



Figs 16-30. *Rhyachaglaea* spp. 16-19, *R. fuscipennis* Sugi, 1958: 16, Saitama, Honshu, ♀; 17, Kobe, Honshu, ♀; 18, Mt. Ogassayama, Honshu, ♀; 19, Mt. Komayama, Honshu, ♀. 20-24, *R. taiwana* Sugi, 1980: 20, Lalashan, Taiwan, ♂; 21, Suleng, Taiwan, ♂; 22, Annashan, Taiwan, ♂; 23, Nanling Nature Reserve, Guangdong, ♂; 24, Mao'ershan, Guangxi, ♂. 25-26, *R. luteomixta* Hreblay & Ronkay, 1998: 25, Suleng, Taiwan, ♂; 26, Mao'ershan, Guangxi, ♂. 27-28, *R. terngjyi* Chang, 1991: 27, Terngjyi (Tengchih), Taiwan, ♂, paratype; 28, same locality, ♀. 29-30, *R. nanlingensis* Owada & Wang, sp. nov.: 29, Nanling Nature Reserve, Guangdong, ♂, holotype; 30, same locality, ♀. Scale: 10mm
16-19. クロチャマダラキリガ *R. fuscipennis*;
20-24. *R. taiwana*; 25-26. *R. luteomixta*;
27-28. *R. terngjyi*; 29-30. *R. nanlingensis*.

この30年間に、文部科学省の科研費や国立科学博物館の総合研究で、たくさんの国で調査を行いました。ネパール(1979, 1981)、インド(1981, 1983)、タイ国(1983, 1987)、フィリピン(1985)、マレーシア(1987)、台湾(1989-1991)、ベトナム(1993-1994, 1996-1999, 2001-2003)、現在は、中国南部と台湾を中心に、日本と関係の深い蛾類を中国や台湾の研究者と共同で調べています。最近の成果では、日本から中国南部を経てネパールまで分布しているチャマダラキリガ(ヤガ科)属の再検討を行いました。この中には、斑紋がきわめて類似している種が含まれ、分布が琉球列島と台湾、台湾と中国大陸で分かれることが明らかになりました。この図版の中には9種のチャマダラキリガ類が含まれています。さて、どこで分かれるか、わかりますか? この研究で調べた標本、約850頭は、国立科学博物館のコレクションに関する企画展(2008年末を予定)で展示します。